

1.三重県における施設園芸事業の取り組み

1-2. うれし野アグリ(株)

1-2-1. うれし野アグリ(株)の事業背景①

三重県内
間伐材

松阪木質バイオマス熱利用組合

地域バイオマス資源由来
の木チップの燃焼による
熱エネルギーの供給排熱
蒸気

うれし野アグリ(株)

バイオマス蒸気および
工場排熱を利用した
高軒高トマト栽培施設

木チップ

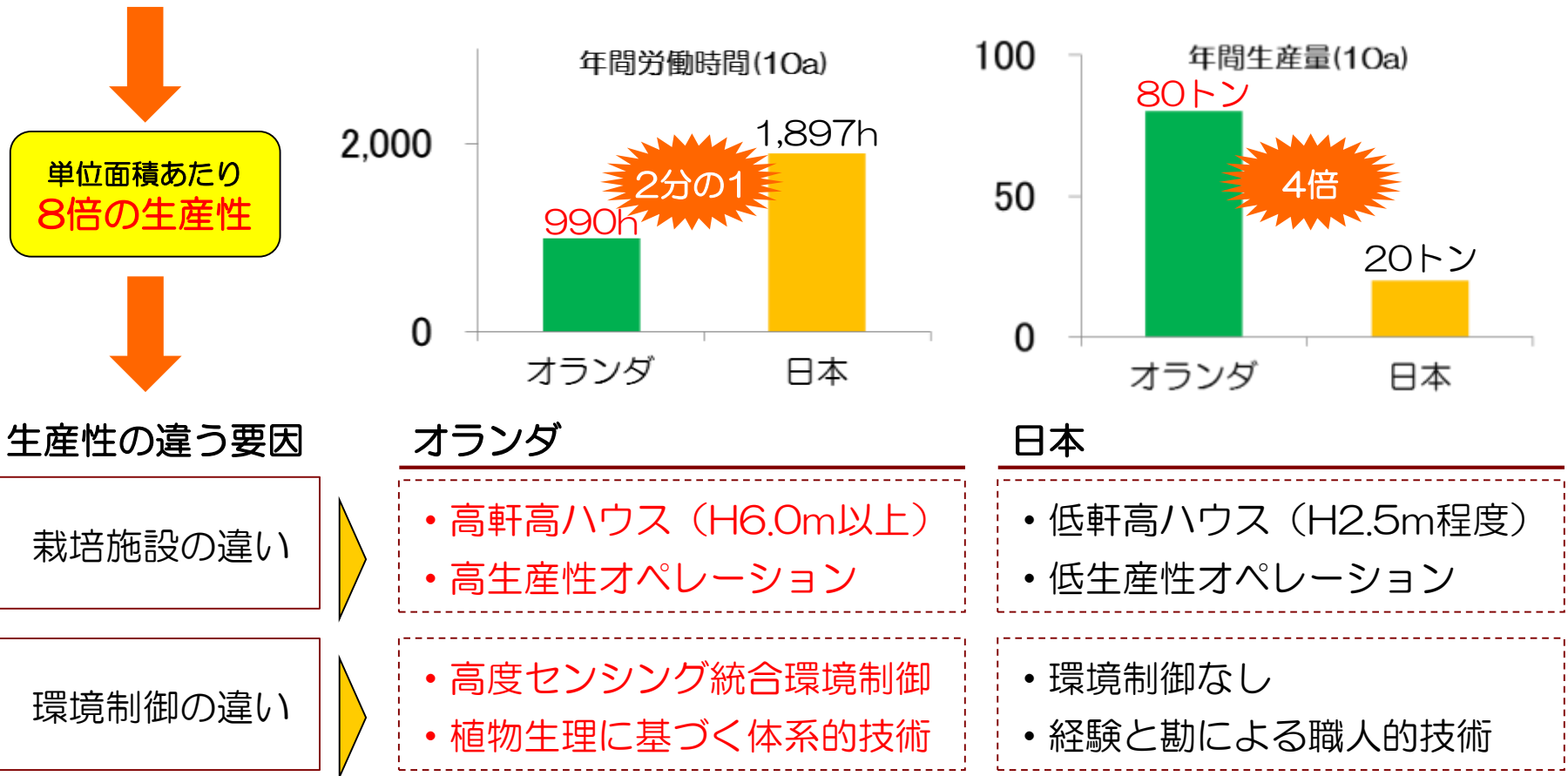


辻製油(株)

- 県土の3分の2が森林の三重県において、辻製油(株)はいち早く地域の間伐材を活用して植物油脂製造における熱源として利用してきた。
- 植物油脂製造工程から発生する排熱を活用し、施設園芸における熱源利用の可能性、バイオマスのカスケード利用の新たなモデル構築に挑戦する。

1-2-2. うれし野アグリ(株)の事業背景②

オランダは日本の2分の1の労働時間で、4倍の量のトマトを生産している



20年先に行くオランダに対し、日本の農業・商業・工業の技術を結集し、
世界で勝てる農業生産システムの構築に挑戦したい。

▼事業目的

- 工業の先進技術、商業の経営ノウハウ、農業の生産技術による次世代園芸の実証
- バイオマス蒸気と工場排熱を活用した温湿度環境制御による新たなモデルの普及

▼事業体制

▼次世代農業コンソーシアム



辻製油株式会社

- ・食品加工技術/熱供給



株式会社浅井農園

- ・栽培管理技術



三井物産株式会社

- ・経営管理/海外展開

工業、商業、農業の技術・ノウハウを結集し、地域に新たな事業モデルを構築



- ・高品質かつ多収量トマト栽培の省エネルギーモデルとして実証
- ・高温多湿のアジア地域における先進的施設園芸モデルの実証

サポート体制



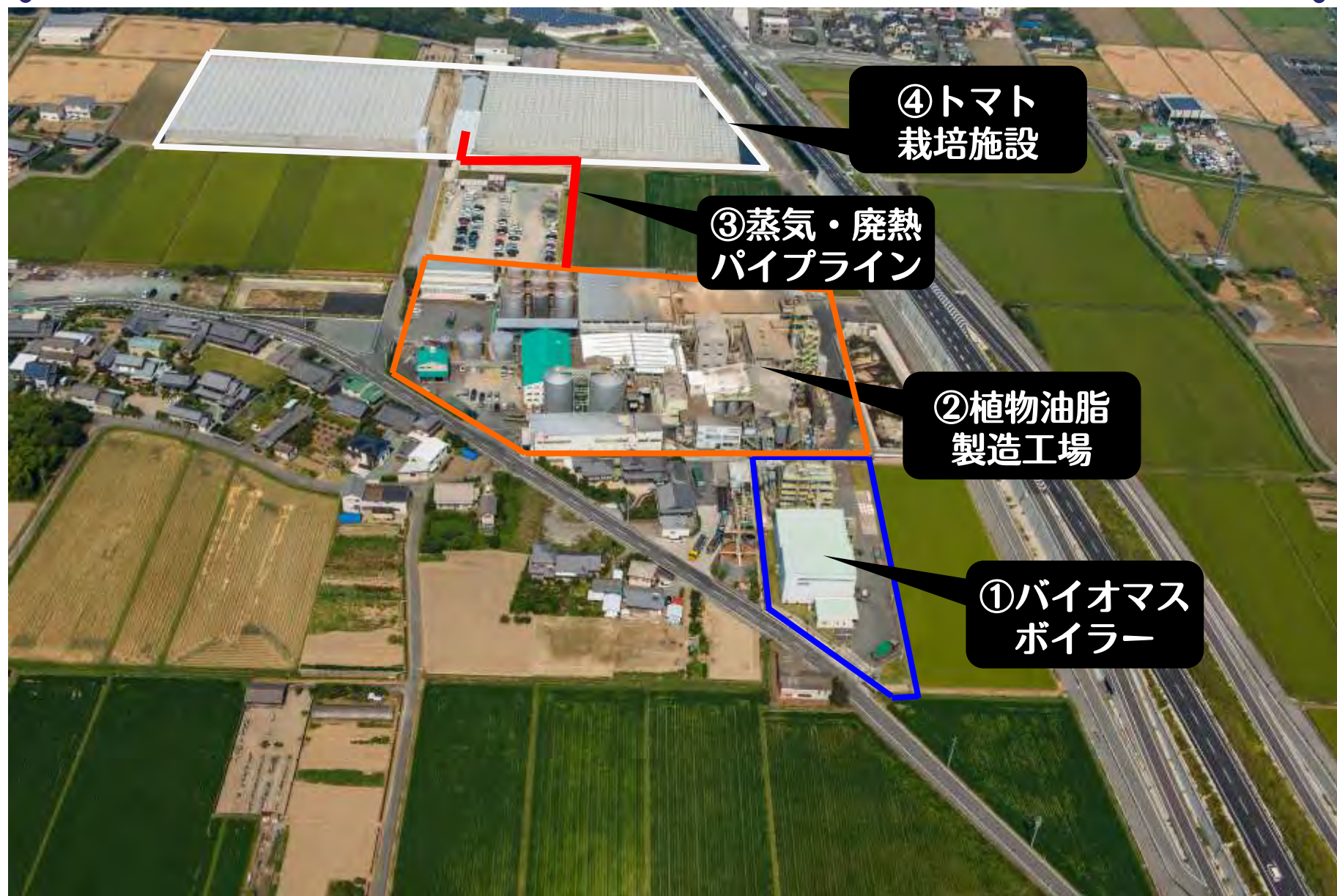
三重大学



三重県農業研究所
Mie Prefecture Agricultural Research Institute

1-2-4. うれし野アグリ(株)の全景

資料3-2





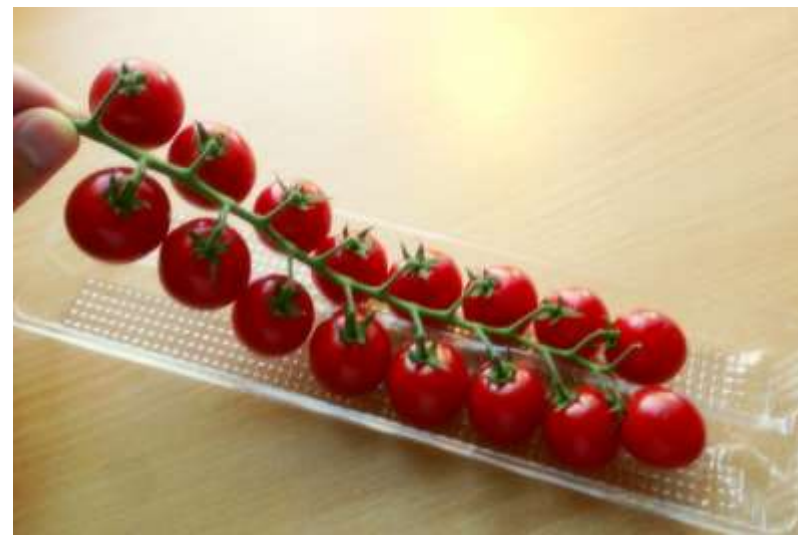
・国内最高軒高6.2m、オランダ/フェンロ型栽培温室



・国内初の地域バイオマス由来の温室内冷暖房システム



・栽培環境、エネルギー等をコンピュータで自動制御



・美味しいミニトマトを周年で安定的に生産可能

- 栽培品目：ミニトマト（房採り/個採り）
- 栽培期間：周年栽培（※通常は1月定植）
- 栽培面積：約2.0ha
- 生産量：約500トン/年（※約25トン/10a）
- 売上高：約3億5,000万円（※計画値）
- 従業員数：43名（※26年12月現在、パート含む）
- 販売先：全国量販店、百貨店、生協、外食店等